

## 2 平成24年度の事業概要

### 2-1 アンケート調査結果の整理・解析作業

20,000件に及ぶ回答結果について、概要編では盛り込めなかった各種データの整理を行い、震度分布図を作成しました。また約7,000件に及ぶ自由記述内容についても項目別に整理しました。

### 2-2 ボーリングデータによる地盤図作成

これまでに松本盆地やその周辺地域で掘削されたボーリングにかかわる地質学的データを収集し、表層部の地盤構造を明らかにすることを目的として以下に述べるような事業に取り組みました。

#### 1) データ依頼にかかわる準備内容・経過

○平成24年4月19日 坪田松本副市長と面談。アンケートによる震動調査結果の報告。平成24年度以降の事業を大学と松本市との共同事業として展開することで基本的に合意。

○平成24年8月 ボーリングデータ収集による地盤図作成のために平成24・25年度に予算計上がされる。

○松本市長名でデータ提供依頼のための公式文書が発出される。

○平成24年9月1日付、震動調査グループからのデータ依頼文書に、松本市長名での文書を添えて関係各機関に文書を送付。一部は直接持参。

#### 2) データ依頼先一覧

松本盆地の地盤情報収集を依頼する対象機関、企業など

国関係 国交省関東地方整備局長野国道事務所  
関東地方整備局長野営繕事務所  
北陸地方整備局千曲川河川事務所  
国立病院機構（営繕関係）  
信州大学（営繕関係部局）

長野県 松本建設事務所  
奈良井川改良事務所  
安曇野建設事務所  
大町建設事務所  
松本地方事務所林務課

松本地方事務所農地整備課  
 長野県建設部技術管理室（既存資料の保有）  
 長野県建設部施設課（県関係営繕）  
 長野県危機管理部（基礎調査データの使用）

市町村 松本市各部局  
 塩尻市（建設、上下水道、学校関係など）  
 安曇野市（建設、上下水道、学校関係など）  
 山形村（建設、上下水道、学校関係など）  
 朝日村（建設、上下水道、学校関係など）

関係団体 長野県地質ボーリング業協会  
 長野県建築士会松本支部  
 長野県建設業協会松筑支部

### 2-3 微動アレー探査による中～深部地下構造解析

責任者 原山智理学部教授のもとで、松本盆地の中～深部地下構造を解析するための微動アレー探査を実施しました。ここでは、探査位置、探査結果等の概要を示しておきます。

詳細は、添付資料2の「2011年長野県中部地震震源域微動アレー探査(H24)報告書」を参照してください。

#### 1) 調査位置

観測点は2011年長野県中部地震の震央域をはさんで東西に4地点(MM1, MM7, MM8, MM10)を設定しました。下にその位置を示します。



## 2) 探査結果の概要

○アレー半径を最大90m として多重アレー観測を行った結果、先第三系基盤と考えられる解析S 波速度値で3000m/sec を超える基盤を深渡約2000m で捉えることができました。

○関東平野でのS 波速度構造と地層の対比から、基盤の上位には新第三紀中新統～第四紀更新統からなる堆積物が最大2000m 程度分布することが推定されました。

○震央域に展開した観測点間 (MM08 とMM07) では基盤深渡で約200m の落差が解析されました。また東側の観測点MM01 の基盤深渡とは約800m の落差があり、松本盆地東縁断層による変位が考えられます。